

顔見知りを増やすプロジェクト事例

遠野市地域おこし協力隊
只松靖浩

profile



只松靖浩 Tadamatsu Yasuhiro

福岡県出身。
印刷会社にて営業として勤務しながら
文房具店を福岡で開業。
2015年に印刷会社を退社して、文房具店をベルリンに移転。
2019年に帰国後は埼玉県三芳町の文化会館にて
イベント企画、運営、プロモーションに従事。
国内外にて展示会やワークショップなどを主催。

**2020年10月より遠野市地域おこし協力隊着任
ミッションは観光と物産の振興**

着任してから

半年ほど経って感じたこと。

**地域おこしをするためには
地域で暮らす方々ともっと
顔見知りになる必要がある**

地域の方と一緒に楽しむ

イベントをやって

顔見知り人口を増やそう！

**こども本の森遠野が
2021年7月オープン**

こども本の森遠野とは



建築家の安藤忠雄氏が遠野市へ寄贈した本の施設。

「東北復興のシンボルは子どもたちの未来でもあり、そのためには本と読書が大切」が理念。

現在は遠野市や近隣エリアをはじめに県内、県外からも多くの方が来館し賑わっている。

新しく誕生したこども本の森遠野で

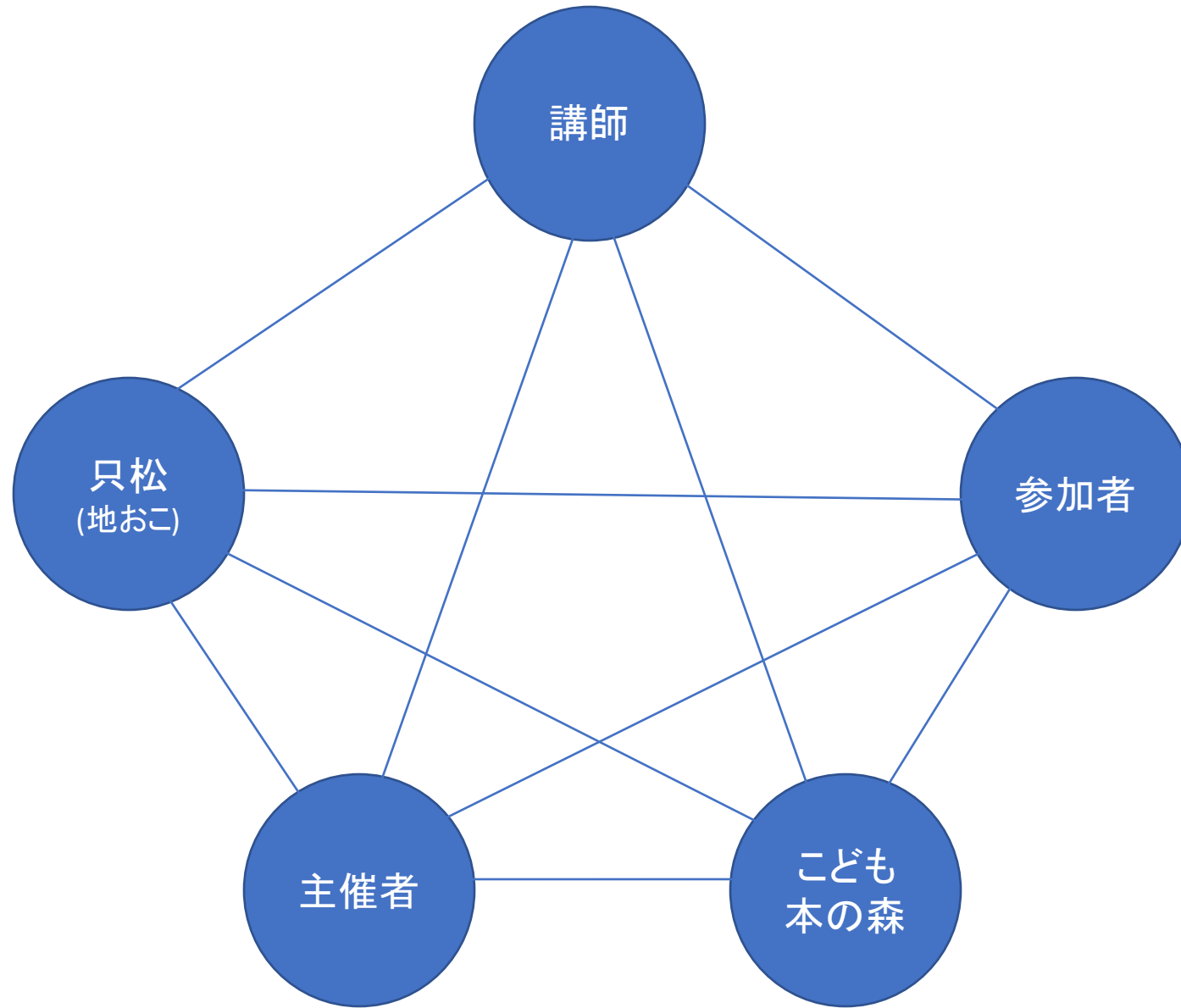
地域で暮らす方々と楽しむ

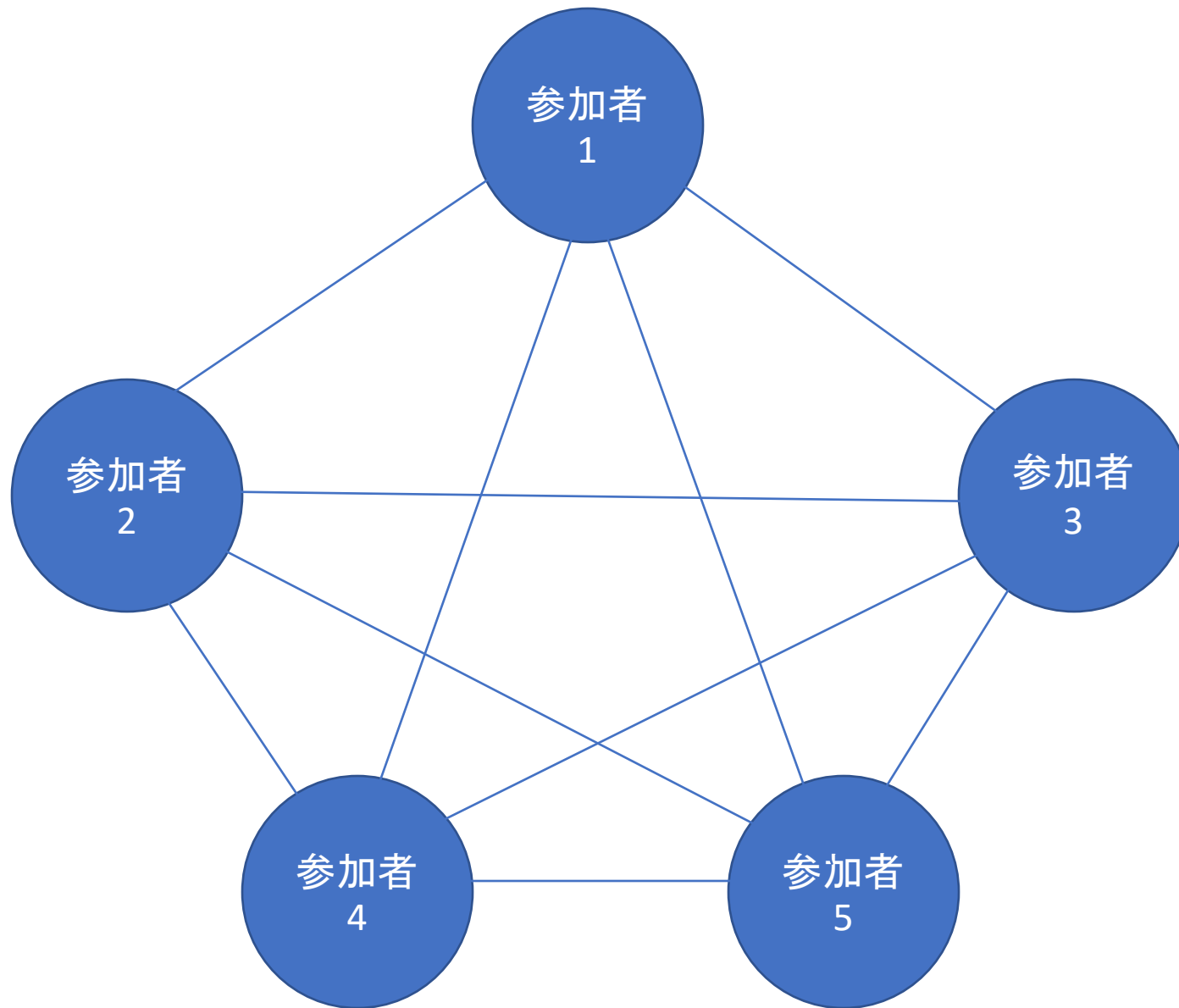
本に関するイベントをやるう！

そこで2件企画

- ・ドイツから手製本を学ぶワークショップ
- ・生涯学習講座「朗読に触れる」

キーワードは出会い





多くの出会いによって
温かなネットワークを
生み出すことが狙い。

ドイツから手製本を学ぶワークショップ

夜に集う本の森

Book Binding Workshop

ドイツから手製本を学ぶ



知って、作って、旅する。

2021.10.16. 土

こども本の森 遠野

岩手県遠野市中央通り 1-16

18:00～21:00 予定 (17:30 開場)

参加費 500 円 事前予約が必要です (定員 8 名)

※当日は定規 (30cm) とカッターをご持参ください。

予約・お問合せ こども本の森 遠野

0198-63-3003 または

kodomo-honomori@city.tono.iwate.jp

本イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止の対応を実施した上で行います。
状況によって実施内容等に変更の可能性があることをご了承ください。



講師 小関佐季
(ベルリン製本工房勤務)



Program



1 本と製本を知る

私たちが普段手にしている本はどのような構造になっているのか紐解きます。そして日本とドイツにおけるそれぞれの製本の文化について学びます。

2 中綴じ製本を作る

表紙と本文に穴を開けて、糸を通した針で紙を縫い合わせていく中綴じ製本は、手軽にできる簡単な手製本の一つです。今回は三つ穴と五つ穴の2種類に挑戦します。



3 ドイツの工房を旅する

講師である小関さんが動いているベルリンの製本工房をオンラインでガイドします。あまり触れることのできない世界をみんなで旅して異国の文化に触れてみましょう。



小関佐季 (講師)
Saki Ozeki

武蔵野芸術大学在学中に手製本と出会う。卒業後に製本会社「美鷲堂」で働きながら製本を学び2015年に渡独。現在はベルリンの製本工房にてマイスターのもと、製本の仕事に従事している。

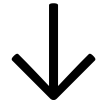


只松靖浩 (サポート)
Yasuhiro Tadamatsu

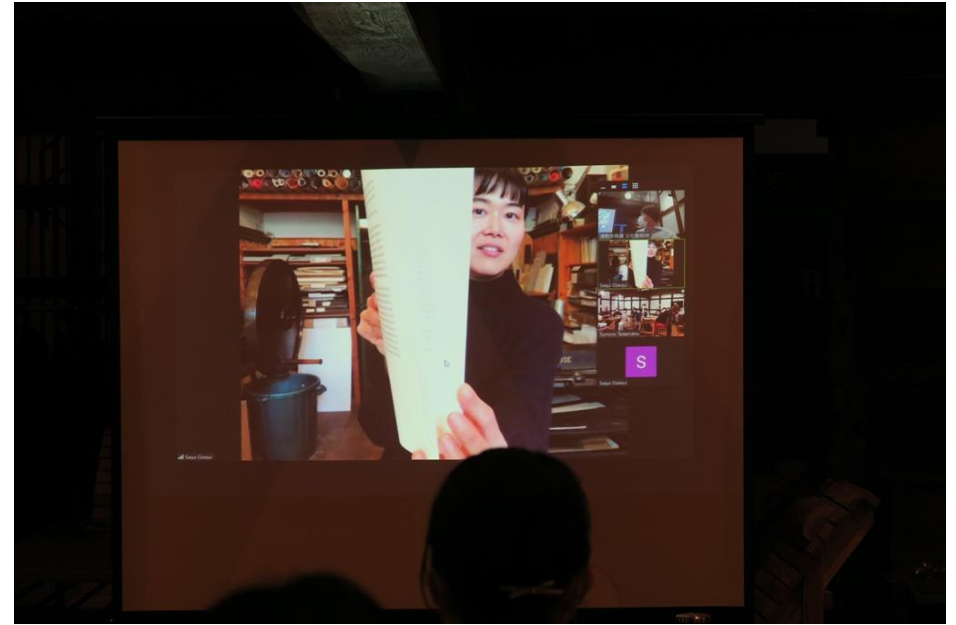
福岡にて印刷会社に勤務しながら文房具店 sowale を開店。2016年に店舗をベルリンへ移転。国内外で展示会やイベントなどを主催する。現在は遠野市の地域おこし協力隊として活動中。

point

手製本を学ぶだけでなく
ドイツとオンラインで結び
違う世界のドアを開く。



みんなと一緒に旅をする。



生涯学習講座「朗読に触れる」



2021.12.18. 土

18:30~21:00 予定 (18:00 開場)

こども本の森遠野 いちの蔵

岩手県遠野市中央通り 1-16

参加費 1,000 円 事前予約が必要です (定員 6 名)

予約・お問合せ 遠野市教育文化振興財団

0198-62-6191 または mail@tono-ecf.or.jp

本イベントは新型コロナウイルス感染症防止対策の対応を実施した上で行います。状況によっては実施内容に変更の可能性があることをご了承ください。



講師 岡安圭子
朗読教室ウツキシキ
主宰
(リモート出演)

声にする。
耳にする。



声にする。
物語は目で追って読むだけでなく、声に出して読むことで、新しい感じ方が生まれます。
講師の岡安圭子さんと一緒に宮沢賢治の作品「やまなし」を声にしてみよう。朗読する際のちょっとしたコツをお伝えします。



耳にする。
朗読した声に耳を傾けましょう。自分の声や、他の方の声を聞くことで、新しい気づきが生まれます。耳から届けられる物語の響きを楽しみましょう。そして自分だけが持つ声の音色や速度に向き合ってみましょう。



お茶にする。
朗読の時間が終わったから、みんなで一緒にお茶をしましょう。二人の講師による朗読との出会いや魅力を皆さんにお届けしたり、これまでになかった朗読会の様子をおはなしします。寒い冬ですが、暖かな時間を共にしましょう。



岡安圭子 (講師)
Keiko Okayasu

朗読家。2007年に朗読のイベントに参加して以来、ギャラリー、美術館、カフェ、森など様々なフィールドで朗読会を開催し、その魅力を伝えている。現在は朗読教室「ウツキシキ」を主宰。



只松靖浩 (サポート)
Yasuhiro Tadamatsu

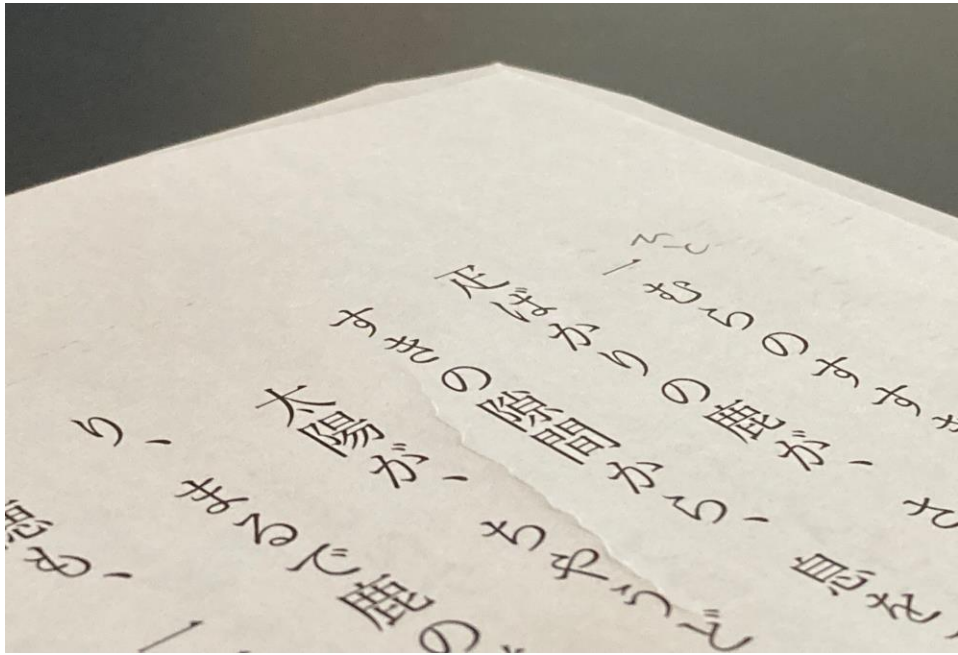
福岡にて印刷会社に勤務しながら文房具店 sowale を開店。2016年に店舗をベルリンへ移転。国内外で展示会やイベントなどを主催する。現在は遠野市地域おこし協力隊として活動中。

point

**朗読を学ぶだけでなく
一つの作品をみんなが
バトンを繋いで読む。**



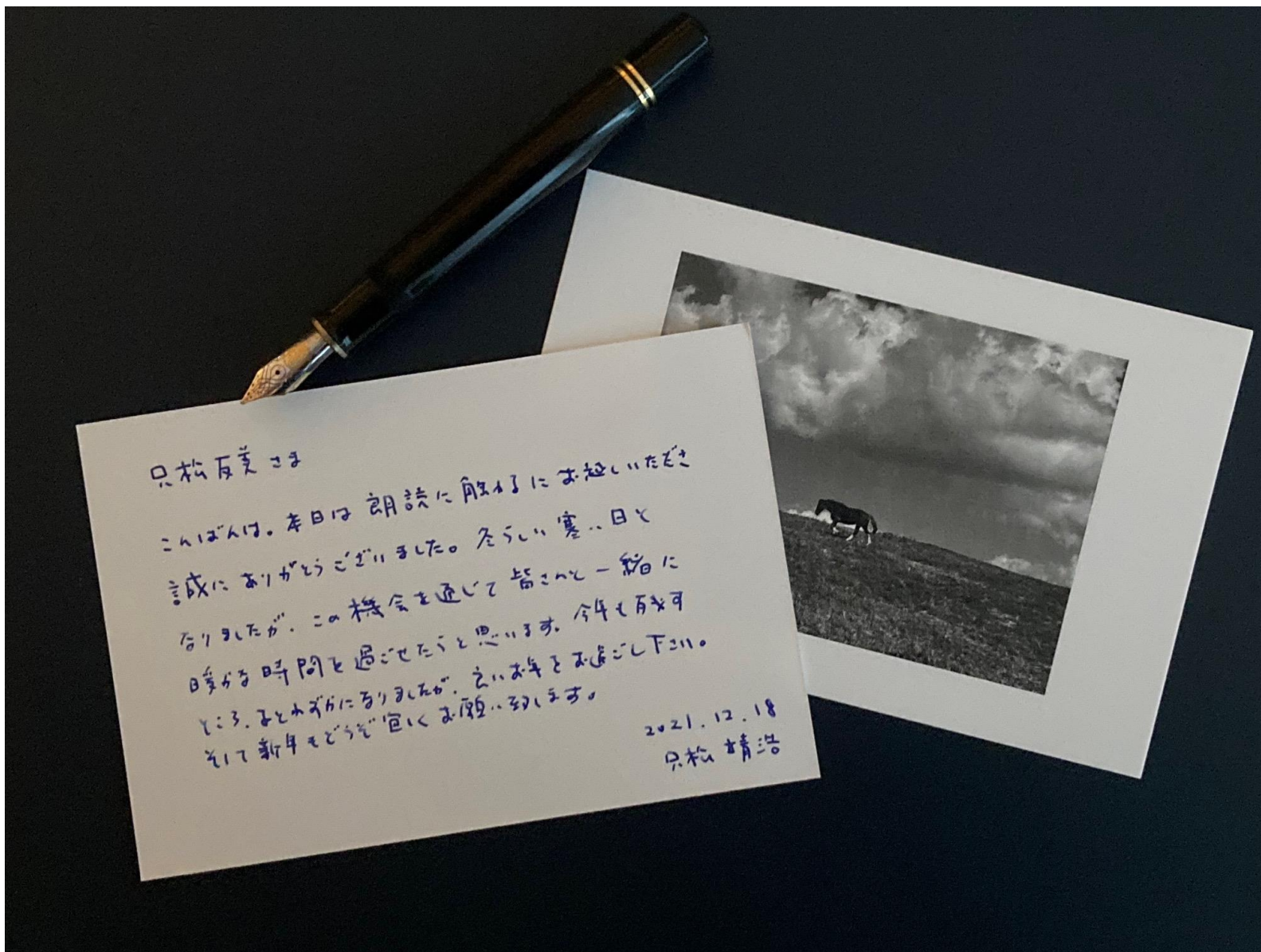
**参加者同士の出会い
繋がりが生まれる。**



出会いを大切にする

私なりの取り組みとして

参加してくれた方一人ひとりに手書きのお礼状を渡す。



只松 反葉 さま

こんばんは。本日は朗読に参加させていただいたこと
に感謝の気持ちです。冬らしい寒い日と
なりましたが、この機会を通じて皆様と一緒に
過ごす時間を過ごせたと思います。今年も百歳可
なり。子どもが成長するまで、この先も応援させていただきます。
そして新年もどうぞ宜しくお祈りいたします。

2021.12.18
只松 靖浩

終わった後、この二つのイベントで
出会った方々から
また開催して欲しいなど
嬉しい声をたくさん頂けました。
中でも嬉しかったのは

**このイベントのおかげで
古い友人と偶然再会できました。**

今回のイベントで得たこと

- ・オンラインはイベントでかなり使える。
- ・多くの方と顔見知りになれたこと。

**地域おこし協力隊として
活動の幅が広がった。**

最後に

出会いの種をまき
ネットワークの芽に水をやり
地域おこしの花を咲かせるよう
今後とも努めていきたい。

ありがとうございました。